将監中学校区防災教育だより

令和２年２月吉日発行

将監中学校区小中学校防災推進部

東日本大震災から９年が経とうとしています。震災当時，小学１年生だった生徒は高校生となり，現在の小・中学生は，学校で震災を体験していません。このような時代に入ったからこそ，ますます地域・家庭・学校の防災力や防災意識を高めることが大切になってくると思います。この「将監中学校区防災教育だより」をお読みいただき，家族で防災について確認したり，話題にしたりしていただければと思います。これからもこのような取組を通して，将監中学校区全体の防災教育を推進していきたいと考えています。

将監西小学校

９月４日に地域防災訓練を実施しました。１～２年生は「防災ダンス」３～４年生は「プッシュプログラム」５年生は「応急手当」と「仮設トイレの組立」，６年生は「炊き出し体験」を行いました。

地域の避難所運営委員会や泉消防署，わしん倶楽部，ヤーボジーの皆様などたくさんの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

子供たちと地域の方々や保護者の方が１つの教室に集い，共に学び合う時間となりました。

桂小学校

５月の集団下校訓練では，たてわり班ごと地区リーダーの児童を中心に，危険個所の確認をしながら下校しました。下校途中で危険個所を発見した場合は，自分たちで写真を撮ったり，安全マップへ記録したりしました。

後日のたてわり活動では，地区リーダーを中心に，この日の振り返りを行いました。上級生が下級生へ危険個所の説明をする場面が多く，下級生も危険個所の認識を深めることができました。たてわりで行う集団下校訓練のよさが見られた活動です。また，６月の引き渡し訓練においては，親子で安全マップを確認しながら下校してもらいました。今回，数回に渡る危険個所確認作業を通して，児童だけでなく，保護者や地域全体での防災意識が更に高まったものと思われます。引き渡し訓練では，保護者の防災に対する高い意識や協力体制により，全児童の引き渡しが速やかに行うことができました。

将監中央小学校

将監中央小学校では，４年生で総合的な学習の時間に防災について詳しく学習をしています。全学年で必要に応じて防災学習に取り組んでいますが，４年生は特に，自分で課題を決めて深く追究し，友達に自分の考えを発信する活動に取り組みました。

東日本大震災のときは１歳で，ほとんど当時のことは記憶にない４年生ですが，津波，避難所の生活，復興ボランティア，自衛隊の活動，自分でできる防災などについて，家族や親戚，近所の方々などの身近な人たちから話を聞いたり，インターネットや図書室の本・資料などで調べたりして，パネルディスカッションの形式で学年の発表会をしました。また，東日本大震災以外の事象にも関心を広げた児童は，火山の噴火，竜巻，雷，土砂崩れ，阪神淡路大震災についても調べ，「自分たちにできることは何か」という視点のもとに考えをまとめ，発表しました。

「命と心を守り育む教育」は，仙台市の学校教育の大きな柱ですが，「いじめをなくす」という観点からのみではなく，「防災」という観点からも，自他の命の大切さ・弱者へのいたわり・社会への貢献などを学ぶよい機会になり，児童の自己肯定感も向上しています。

将監中学校

今年度も，防災教育の一環として，各学年で計画に沿って以下のような訓練を行いました。

◇垂直避難訓練（１年生）９月１１日（水）６校時

あいにくの土砂降りのため，体育館から屋上へ垂直避難の予定が，４階廊下へ避難と変更になりました。将監地区は，津波の心配はない土地といえるかもしれません。でも，一人一人の生涯において，引っ越し，転勤，レジャー等々の理由で，災害時に津波が来る恐れがある場所にいるかもしれません。その際は，平行避難→垂直避難となるなど，その地形，状況に応じて冷静に判断し，素早く行動することが大切だということを学びました。

◇HUG（避難所運営ゲーム：ⓗinanjo ⓤnei ⓖame ハグ）訓練（２年生）９月１１日（水）４校時

５～７人のグループで，クラスごとに行いました。カード１枚１枚が避難民１人１人になっていて，そのカードをめくりながら，次々に来る避難民に対して話し合いながら対応していくというものです。様々な問題に対処しながら，疑似的に災害時の避難所運営が体験できました。

◇避難所設営訓練（３年生）９月１３日（金）５・６校時

１，２組は，仮設洋式トイレ，３組は仮設和式トイレの設営を，４，５組は発電機体験と扇風機・投光器組立を行いました。

〔生徒の感想〕

- 学んだことはいつかきっと生きる。発電機を，実際に触ってみることができたのは，とてもいい経験だ。
- 災害時には，一人ではできないことを，友達や地域の人たちと一緒に乗り越えるんだということを学んだ。
- K先生は，私達と同じ年に震災を経験したそうだが，その２週間前に訓練を行っていたからスムーズに動くことができたそうだ。訓練の時から，危機感を持たなければならない。
- スーパーボランティアの勝又さんに感謝したい。

◇クロスロードゲーム（１年生）：１１月２１日（木）６校時

５，６人のグループでクラスごとに行いました。担任から災害時を想定した「お題」が出され，その時自分がどう動くか，理由を付けながら発表します。災害時の緊迫した状態で，どちらの行動を取るか非常に大きな意味があります。多数が常に正しい訳ではなく，本気で考え悩みながら，非常時の動きをシミュレーションしました。